

夏
2022

学びと
健康を
支える

Jkk NEWS

jkkcoop.net

体験教材のあり方と活用



特集

繋がり合う教材であるために

筑波大学附属大塚特別支援学校 研究主任兼教務主任 佐藤 義竹

学校における体験型AED・救命教育 実践の勧め

京都大学医学研究科 予防医療学分野 教授
公益財団法人 日本AED財団 専務理事 石見 拓

天板張替プロジェクト インタビュー

元久喜市教育委員会 川島 尚之 元久喜市立青葉小学校 校長 青山 里美
久喜市立久喜北小学校 校長 柳田 薫 アイカ工業株式会社 杉原 啓太

ご好評いただいております!



AICA
×
Jkk

わたしたちの学習机を
後輩たちへつなげよう

天板張替 プロジェクト

SDGsの
目標にも
対応

SDGsの17の目標から、「3.すべての人に健康と福祉を」、「4.質の高い教育をみんなに」、「12.つくる責任 つかう責任」、「15.陸の豊かさを守ろう」、これらに該当します。壊れたら破棄するのではなく、修理して長く使うなど、地球環境を考えてモノを大事にすることも学べることができます。

天板張替プロジェクトとは…

古い机の天板にメラミン化粧板
ウイルテクト®を貼ることで、
抗ウイルス効果のある、
キレイで丈夫な机に
生まれ変わらせる取り組みです。



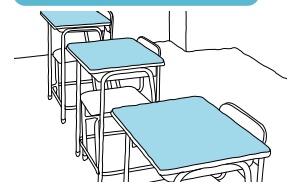
新色

耐薬

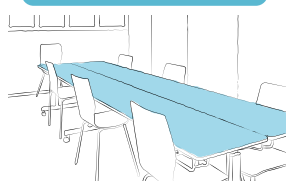
抗菌・抗ウイルス

●さまざまな場所に使える 学童机だけでなく会議室の長机や、実験机など大きな机にも施工可能。抗菌効果だけでなく見た目も美しく。

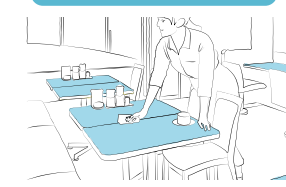
学童机に



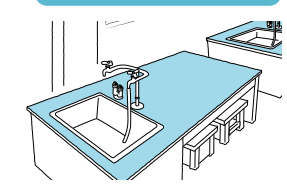
会議室の机に



食堂の机に

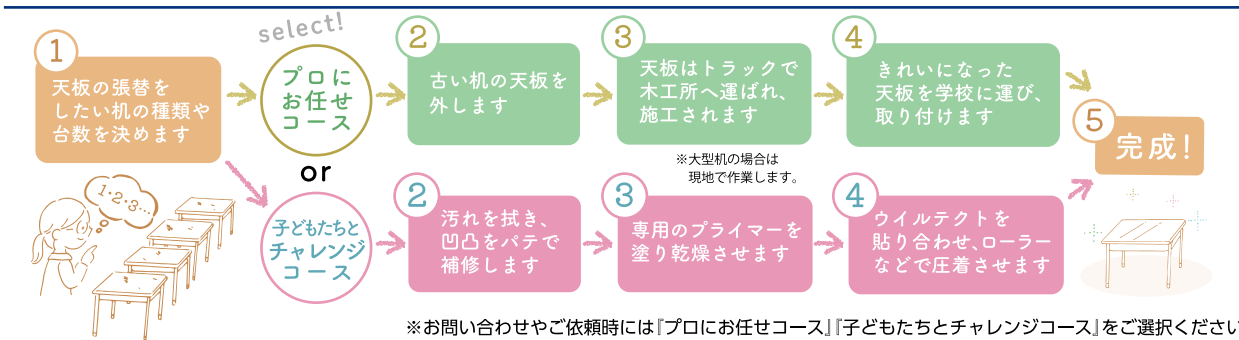


実験机に



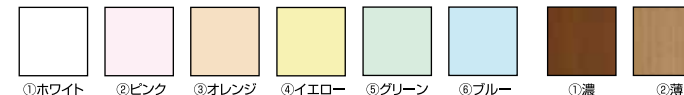
●天板張替の流れ

※天板の損傷が激しい場合や、腐食・カビなどが見受けられる際は、張替をお受けできない場合があります。



※お問い合わせやご依頼時には「プロにお任せコース」「子どもたちとチャレンジコース」をご選択ください

〈パステルカラー6色〉



〈木目調2色〉



※「ウイルテクト」は、表面に抗ウイルス・抗菌性能を付加した建材です。



【スムーズな問い合わせの流れ】
張替したい台数とサイズをお知らせください。
学童机の場合は、旧JISサイズ(60×40cm)か新JISサイズ(65×45cm)。
実験机や会議机の場合は実寸を測ってご連絡いただければ、
お見積り、納期などを回答させていただきます。

【お問い合わせ先】
JKK事務局 Tel.03-6231-4177

当組合は、全国の小中高等学校に向けて、
先生方が教えやすく、子どもたちに伝わりやすい教材・教具の
研究開発と流通を担っております。
ぜひ一緒に、これからの教材を開発していきましょう！

先生方の
教材・教具に対する
生の声を
お聞かせください！



jkkcoop.net/contact



「深い学びにつながる教材の活用とこれからの体験教材のあり方」をテーマに、筑波大学附属大塚特別支援学校 佐藤主任、京都大学医学研究科 予防医療学分野 石見教授へのご寄稿をお願いしたところ、快くお引き受けくださいました。心より感謝申し上げます。また、天板張替プロジェクトにおいてインタビューにご協力いただきました元久喜市教育委員会 川島様、元久喜市立青葉小学校 校長 青山様、久喜市立久喜北小学校校長 柳田様、アイカ工業 杉原様、ありがとうございました。(JKK NEWS事務局)





JKK創設60周年の感謝 これからの教材・教具を取り巻く環境

全日本学校教材教具協同組合（JKK）理事長

小林 広樹



理事長挨拶

全日本学校教材教具協同組合（通称：JKK）は、皆様から多大なご支援を賜り本年で創設60周年を迎えることとなりました。これもひとえにご支援くださった皆様の御力添えによるものと厚く御礼申し上げます。

当組合の使命として「子どもたちの深い学びにつなげる質の高い教材・教具の開発や流通」を掲げてまいりました。学校教育における教材・教具は国内外から約2万点を調達しています。国内の産業基盤で生産されるものも、原材料など元をたどれば海外からの調達に頼らなければならぬ状況です。

しかし、ウクライナ問題も含め国際情勢は不安定さが浮き彫りとなっています。国内の「ものづくり」においても、半導体を含め「電子部材」は高騰し続け入手すら困難な状況です。さらに、学習机やロッカーの原料となる「鉄・木材やステンレス」、給食に関わる「穀物や食料品」「エネルギー問題では石油系燃料の高騰による「輸送費」ほぼ全てにおいて記録的な値上がりが続ぎ、コスト

プッシュインフレが日本経済のみならず国民の生活をも圧迫し、先行きの不透明さがますます広がっています。学校教育における教材・教具においても、例外なく影響を受けることが予想されます。

初等中等教育においては、教育改革の一環として、小学校における35人学級の体制構築や小学校高学年における教科担任制が推進される計画があります。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて子どもたちのつまずきや悩みをサポートし、興味・関心・意欲を育む、より丁寧できめ細かい個別最適な指導や支援が求められています。

そうした個を大切に育てるとともに、子どもたち同士が協働して社会的な変化を乗り越えられるように探究的な学習や体験活動の充実化に向けて、教材・教具でサポートできればと考えます。

GIGAスクール構想

新型コロナウイルスの流行がGIGAスクール構想を大きく後押しすることになり、1人1台の端末の整備状況は令和3年度までに1785自治体（98.5%）が完了となりました。これからのように活用されていくのでしょうか？高機能なカメラやマイク、大型提示装置など周辺機器を充実させ、遠隔授業を可能とするICT支援体制が必要になります。学校教育の質を高めるためICT環境を整え、令和6年度のデジタル教科書の本格導入に向けてますます教育環境の整備が求められます。



JKKの活動報告

「天板張替」「黒板張替」プロジェクト

埼玉県久喜市教育委員会様と当組合は「天板張替」の取り組みを実施し、STEAM教育やSDGs等の教科等横断的な学習の推進として、アイカ工業株式会社とJKKの共同企画「教室用机を抗菌・抗ウイルス対応の天板に張り替えるプロジェクト」を進めました。

第一回目は、今年3月の小学校卒業記念として、卒業生が使用してきた思い出の詰まった教室用机の天板を、自分たちで張り替え在校生にプレゼントしようというものでした。

アイカ工業株式会社は天板など国内化粧板70%のシェアを持つものづくり企業です。いま学校ではコロナの影響で校外学習を取り止めにありますが、今回はオンラインで工場見学を開催し、ものづくりに携わる方々との触れ合いが実現。工法などを見ることができ、新しい学びがたくさんありました。ものづくりの過程を知ることで、ものを大切にする気持ちを育み、子どもたちに貴重な体験をさせてあげることができたと、先生方からもご評価を頂戴しました。

さらに、授業の振り返りとして児童が作成した「SDGs新聞」が、埼玉県知事賞という大賞を受賞するなど、体験を通じた深い学びの実践として成果を残すことができました。

天板張替プロジェクト



オンライン工場見学

天板張替プロジェクトの活動について
p.08～09にインタビュー記事を掲載しています。



天板張替

「黒板張替」プロジェクトは、従来の黒板部の金属部とベニヤ材を貼り合わせて取り付ける工法から、表面の黒板部のみを張り替える新しい工法が生み出されました。それにより予算も時間も削減できるため、今後も学校現場での普及を図っていきたく考えています。

特別支援教育教材について

元来、個別最適が重要視される特別支援教育分野における教材開発は、当組合が取り組んでいる重点事業です。

少子化により子どもの数が減少する一方、特別支援教育が必要となる子どもは32万6千人と急増しています。開発された教材・教具が学校現場でどのように有効的に使われるのかを示した「28の活用事例をまとめた別冊版」を発行しました。

特別支援教育を担う先生方へのヒントになるように、教材開発のみならず、活用の参考となる情報を引き続き提供してまいります。

特別支援教育教材



学習用つい立て



28の活用事例をまとめた別冊版

28の活用事例が掲載されている「特別支援教育カタログ」はp.05のQRコードからダウンロードできます。

落ち着いて
集中できる
場所づくり！

先生方の
ニーズに
合わせた
アイデア
募集中





学校における

体験型AED・救命教育 実践の勧め

京都大学医学研究科 予防医療学分野 教授
公益財団法人 日本AED財団 専務理事

石見拓



公益財団法人 日本AED財団 専務理事。
京都大学医学研究科 予防医療学分野 教授。
循環器内科医。
専門は蘇生科学。長年にわたり、心肺蘇生・AEDの効果検証と普及活動に従事。

小学校から始めたい救命教育

新たに改訂された中学校、高等学校の学習指導要領では、AED（自動体外式除細動器）の使用を含む応急手当を『実習を通じて習得する』よう記載が強化されました。小学校の学習指導要領にはまだAEDや救命処置に関わる言及はありませんが、一部の教科書にAEDや突然の心停止への対応の重要性を伝える記載が登場するなど、小学校からAEDの使用法を含む救命教育を進めるべきとの機運が高まっています。これは、世界共通の潮流で、まもなく国際蘇生連絡委員会という蘇生に関わる国際団体から、学校における救命処置教育を従来以上に強化すべきであるとの声明と具体的な教育方法が示される予定です。

指導法の確立と教材の開発

学校での救命教育の実践は重要と分かっていても、指導のノウハウがない、実技指導用の適切な教材がない、従来の少人数を対象とした実技訓練のやり方では十分

な授業時間が確保できない、などの課題が多く普及が進まないという実態がありました。そこで、日本AED財団と全日本学校教材教具協同組合（JKK）がタッグを組み、救命医療・蘇生科学の専門家、学校教育の専門家、小学校・高等学校の教員が集まり、AEDの使用法を含む救命教育の標準的な指導法を確立するとともに、学校に導入しやすい教育教材を開発しました*1。これを活用すれば、学習指導要領に準じた形で、効果的・効率的に、AEDを用いた救命処置の教育を実践することができま。日本AED財団ではさらに、まだ教科書に十分な記載がない小学校での救命教育実施を支援するために、小学校向けの副読本と教員用指導マニュアルを作成し、無償配布もしています*2。

AEDで救える命を増やしたい

日本では毎年7万人を超える方が、心臓病が原因で病院の外で突然心停止となり、その多くが亡くなっています。学校でも、毎年100人以上にAEDが使用され、そのう

ち約30人に電気ショックが行われていると報告されています。学校はAEDが最も有効に機能する場所の一つで、心停止のおよそ3分の2は社会復帰していますが、それでも残念ながら毎年約10人の児童生徒が学校管理下に心臓突然死で亡くなっています。心停止からの救命には、素早い心肺蘇生とAEDを用いた電気ショックが重要で、現場に居合わせた人による胸骨圧迫（心臓マッサージ）で約2倍、AEDを用いた電気ショックで更に2倍社会復帰率が高まります。しかし、倒れるところを目撃されたケースでもAEDを用いた電気ショックに至るケースはわずか5%です。学校での心停止を含め、AEDを用いた救命処置を行うことができる人を増やすことで、救える命がまだまだたくさんあるのです。

安心安全な社会の実現に向けて

誰もがAEDを用いた救命処置を行うことのできる社会を実現するためのカギは学校教育です。日本AED財団では、小学校から始まり、中学校、高等学校、そして



心肺蘇生・AED授業セット開発委員会

大学・社会人と繰り返し、発達段階に応じてAEDを用いた救命処置を学ぶことのできる学校での救命教育の普及を目指しています。学校での救命教育は、社会に体系的な広がりをもたらすとともに、これからの時代を担う若者たちに、命の大切さ、共助の精神、自分たちにできることを感じてもらうことができる貴重な機会です。そして、子供達自身の命を守ることに繋がります。ぜひ、学校での救命教育を実践し、安心安全な学校、社会の実現にご協力ください！

心肺蘇生や AED について、授業で体験しみんなで学ぼう！

PUSH&AED体験セット (実用新案登録第3232409号)
●基本セット907-402

<訓練用AED>

<訓練用シート>

<紙パッド>

訓練用 AED の色替え

設置しているAEDに合わせて色替えできます

AEDを使う

小学校安全教育副読本『命を守る 心肺蘇生・AED』

DVD 小学校版

DVD 中学校高校版

指導案と副読本は下記よりダウンロードいただけます。

指導案

*1 <https://www.jkkcoop.net/school-push-aed/>

副読本

*2 <https://aed-zaidan.jp/download.html>

詳しくは同封チラシをご覧ください



川島 尚之

元久喜市教育委員会 教育部指導課
指導主事兼指導課主幹兼指導課付 GIGA スクール推進室長

02

ESDー持続可能な開発のための教育ー
天板張替プロジェクトのアイデアを青葉小学校の青
山校長(当時)からお伺いしたとき、まさに久喜市教育委員
会が求めている教材だと思いました。子どもたちがリアル
な体験を通して、社会とつながる教科横断的な学びに取り組
むことができ、さらに次世代に物を残すこともできるとい
う、ほかにはない内容だったからです。SDGs実現のため
のESD(持続可能な開発のための教育)の教材として、
他校でも実施するべきと判断。各学校に提案したところ、
計7校(小学校5、中学校2)で行うことができました。
久喜市教育委員会では、ESDの中核は「STEAM化さ
れた学び」だと考えています。「STEAM化された学び」に
おいては、子どもたちにとってワクワクする目的(社会とつ
ながるSDGs)を先に見据えたうえで、それを実現するた
めに必要な知識を学んで、友達と協働しながら、目的達成を
目指していくプロジェクト型学習が効果的です。企業と連
携した授業で起こりがちな失敗は、授業を担当する教員と
の共通理解・共通認識が足りなくてスムーズに進められな
いケース。でも今回は違いました。アイカ工業様とJKKの
担当者が丁寧に事前の打ち合わせやレクチャーをしてくだ
さったので、教員が授業のポイントや注意点をよく理解す
ることができました。これが各校でうまく授業ができた要
因だと思っています。また、充実した打ち合わせのおかげ
で、市に対してプロジェクトの目的や子どもたちのメリッ
ト、かかる労力などをより明確に説明することができまし
た。久喜市教育委員会では今回の経験を活かし、持続可能な
社会の創り手を育む取り組みをさらに進めてまいります。



青山 里美

元久喜市立青葉小学校
校長

01

JKKへの一本の電話から始まった「天板張替」
青葉小学校では、温気で一部の学習机にカビが生え困った
経験があります。そんなとき『JKKNEWS』で、抗菌
機能を持つ「メラタックウイルテクト」を使った天板張替
の記事を発見して、JKKに問い合わせたところ、担当者
が直接来てくれました。お話を伺うと、張替作業の工程が
シンプルだったので「子どもでもできるかもしれない」と
いう発想が生まれたんです。発想の背景には「コロナ禍で
活動が制限されている子どもたちに体験学習の機会をつ
くりたい」という思いがありました。その思いに添えてい
ただき授業化に向けて話し合い、第二回の打ち合わせから
はアイカ工業様にも参加いただき、三者連携の授業づくり
がスタートしました。
企業連携の授業では、企業側が内容を提案し、学校側は
受け身にまわることがよくあります。でも天板張替プロ
ジェクトは、アイカ工業様とJKKの担当者と一緒に、子
どもの可能性を広げるためのアイデアを出しながら授
業づくりをすることができました。このプロジェクトは、
久喜市が掲げる教育目標に合致すると考え、教育委員会に
ご報告して採用に至りました。その後市内計7校で実施す
ることになり、子どもたちの体験学習の機会が増えたこと
を嬉しく思います。
今回の授業を通してSDGsについて考え、小学生が作
る環境新聞「ジュニア・エコタイムス」(埼玉新聞社主催)へ
応募しました。子どもたちそれぞれが天板張替の経験を
もとに新聞を制作し、そのなかの一品が、大賞の県知事
賞受賞という、たいへん嬉しい結果にもつながりました。



天板張替プロジェクト



杉原 啓太

アイカ工業株式会社
東京支社 建装建材カンパニー 営業第二部

協力企業

プロジェクトが与えてくれた、新鮮な気づき
天板張替プロジェクトへの参加は、会社にとっても個人
にとっても新鮮な気づきを与えてくれるものでした。
まず新鮮だったのは、私どもの製品「メラタックウイル
テクト」に対する見方です。これまでは建築用の材料とい
う認識でしかなかったのですが、青葉小学校の青山校長
(当時)からの「体験授業として使いたい」というご要望を
お聞きして、驚きとともに、見方を変えれば「教材として
使ってもらえる製品がある」という新たな可能性に気づか
せてもらいました。会社も私も教育や教材という分野には
なじみが薄かったのですが、青山校長やJKKの担当者と
話し合いながら授業づくりを進められたので、教育的意義
も含め理解を深めていくことができました。会社としても
STEAM教育やSDGs学習といった部分で貢献できる
要素があると気づける良いきっかけになったと思います。
そして新鮮な喜びもありました。今までは大人を相手にす
る仕事だったので、子どもたちがどのような反応をするのか
不安でした。でも実際の授業で、キラキラした目で一生懸命に
取り組んでいる子どもたちの姿を見たときは素直に嬉し
かったです。子どもたちの学びや思い出に残ることに貢献
できたという喜びは、実に大きなものでした。天板に貼るウイ
ルテクトという素材は、硬くて傷に強いメラミン化粧板に、抗
菌と抗ウイルスの機能を加えたものです。特定ウイルス数を
99%減少させる効果があるので、ウイルスや細菌対策で増加
している先生の負担を減らすことにもつながります。天板を
きれいにするだけでなく、いろいろな付加価値を生むことが
できるこのプロジェクトをぜひ利用してほしいと思います。

インタビュー

学校と企業でつくる、
子どもたちの未来へつなげる学び

天板張替に
ついての
詳細は
こちら



柳田 薫

久喜市立久喜北小学校
校長

03

子どもたちが楽しく取り組んだ、貴重な体験
天板張替に参加した当時の6年生は、最も活発に活動
できる高学年の時期とコロナ禍がかぶり、活動の制限や
我慢を強いられた学年です。その子たちの卒業前に「みん
なで活動する良い思い出をつくってあげたい」という思
いがありました。さらに、SDGsやESDの推進にもつ
ながる内容だったので、教育委員会より提案を受けた天
板張替プロジェクトに参加させていただきました。
アイカ工業様がご用意くださった動画での工場見学
や、オンラインでの質疑応答では、製造工程を学べるだけ
でなく、実際に働いている方のお話を聞くこともできま
した。6年生の3学期にはキャリア教育も入ってくるの
で、子どもたちにとってタイムリーな経験になりました。
天板張替作業で印象的だったのは、子どもたちのイキ
イキとした顔です。楽しみにしていたのが伝わり、友達同
士で協力している姿が見られ、実施して良かったと思い
ました。一生懸命にヤスリをかけながら「このあと使う子
が、キレイと驚いてくれるといいな」と言っている声
も嬉しく、自分たちが使ってきた机を、自分たちでキレイ
にして後輩たちに受け継いでいくという非常に良い取り
組みだと実感しました。
作業工程がシンプルだったこともあり、学校側として
は無理なく実施でき、教員は事前準備に時間がかかるこ
ともありませんでした。また、特別支援学級の子どもたち
も一緒に交流しながら作業を行い、皆で達成感を味わう
ことができました。卒業後も、子どもたちのなかに貴重な
体験の思い出として残ってくれることと思います。

扱うボードゲームは700種類以上！国内最大級の専門店！

SUGOROKUYA

すごろくや、オトナの知的さを発揮できる面白さと、こどものように喜べる楽しさが両立した、「こんな面白いものがまだあったなんて！」ときっと驚いていただけるボードゲーム・カードゲームを取り扱っています。

すごろくやの商品は公費でのお支払いに対応しております

専用のカタログをご用意しております

ご注文、お問い合わせ FAX: 050-3737-8200

商品、個数、施設名・住所・電話番号、その他ご要望内容を記載いただきご連絡ください。必要書類はご相談ください。

すごろくや公式サイト

子供のアイデアを導き出す魔法のゴール

マルチフレキゴール・ネット

マルチフレキゴール・ネット C
EKD820
¥32,000 (税込35,200)/台

お子さまのレベルや授業に合わせてゴール形状を変更可能
ボールゲームやネット型ゲームを楽しくアレンジ！

株式会社 エバニュー

東京本社 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35 JMFビル東陽町 02 6F
TEL (03) 3649-3052 FAX (03) 5683-5946 e-mail: a-f@evernew.co.jp

大阪営業所 〒542-0061 大阪府大阪市中央区安堂寺町 2-3-5 第18松屋ビル 9F
TEL (06) 6762-2431 FAX (06) 6762-2425 e-mail: osaka@evernew.co.jp

CUSTOM 夏のオススメ製品

NEW!

検温しやすい角度に測定センサー部が回転する非接触体温計

270°回転

距離センサー付きモデル

パピッとサーモ® CR

製品番号: NIR-11CR / 医療認証番号: 303AFBZX00063000
※Bluetooth 対応モデル (NIR-11BT) も今秋発売予定!

手のひらサイズで持ち運びに便利な非接触体温計

パピッとサーモ® mini

製品番号: NIR-02 / 医療認証番号: 227AFBZX00039000

周囲環境の CO2 レベルをモニター
コンパクトな卓上サイズ

CO2-mini

製造販売業者 **株式会社 カスタム** <https://www.kk-custom.co.jp>

本社 / 関東支店 〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL: 03-3255-1117 (代表)

関西支店 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-6-12
ブルーク長堀ビル 6F
TEL: 06-6262-9950 (代表)

注目の新商品

熱中症予防温湿度計

色で危険度がわかる
イラストで行動に導く

熱研の熱中症関連商品

SN-902 SN-910

ボールガード SN-907

SN-910 (室内仕様) **子どもたちの命を守るために**

定価: 7,700円 (税込)

寸法: Φ 300 × D49 mm

株式会社 熱研
東京・大阪・埼玉
<http://www.netsuken.jp>

子どもたちの「なんだろう?」「こんなことしてみたい!」を大切に

小学校3年生 **導入教材**

はじめてのリコーダー

子どもたちが初めてリコーダーに触れる
導入時 (1時間目) にオススメの映像教材!

監修: 岩井智宏 / 山中和佳子

■DVD はじめてのリコーダー ZRD-1 ■定価 5,500 円 (税込)

ZEN-ON 株式会社 全音楽譜出版社
〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-13-3 TEL 03-3227-6270 <https://www.zen-on.co.jp>

イーザーアップ・テント

フレーム (スチールorアルミ) が選べる最上級大型モデル。

DELUXE 《デラックス シリズ》

わずか 1~2 分でかんたん設置
天幕を付けたまま撤収・保管が可能なので、設置・片付けが簡単。
気軽にテントを使いたいならイーザーアップテントがおすすめです。

イーザーアップテント総輸入元 〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町 7669-44
株式会社 来夢 TEL: 059-378-6648 FAX: 059-378-6436

総合カタログ・お見積り・商品の詳細など、お気軽にお問い合わせください。
<https://www.ezup.co.jp/> [イーザーアップテント](#)

「栄養を備蓄する」

健康二次被害を防ぐための新しい保存食の考え方。

LifeSoup

今までの備蓄食では不足する栄養素があることがわかっています。

11種類のビタミンと2種類のミネラルをバランスよく配合。

食物アレルギーがあったので食べられなかった備蓄食と支援物資がありました。

アレルギー特定原材料等 28品目を使用しています。

ライフスープ

〈備蓄用栄養補給ライフスープ〉

日本災害食学会 認定取得商品
防災安全協会 防災製品等推奨品証取得
日本災害食大賞©2021 「食育学会賞」受賞

株式会社 ベジタルアドバンス
〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角刈4394
☎0270-27-4367 info@vegitadadvance.com